



HOKKAIDO
UNIVERSITY

講義「人工知能」

第4回 AI関連ニュース

- 北海道大学大学院情報科学研究院
- 情報理工学部門 複合情報工学分野
- 調和系工学研究室 准教授 山下倫央
 - <http://harmo-lab.jp>
 - tomohisa@ist.hokudai.ac.jp
 - 2024年4月18日(木)

❖ 世界初の“ミスAI”を選べ！ 「人工知能の美人コンテスト」が開催へ 美しさやSNSでの影響力、内面の豊かさを問う質問も

- https://nlab.itmedia.co.jp/nl/articles/2404/17/news164_2.html

- 2024年04月17日 ねとらぼ

- The World AI Creator Awardsは4月14日、世界初のAI美人コンテストを開催することを発表しました。
- 近年人気の高まっている人工知能によって作られたモデルやインフルエンサーが“ミスAI”の称号を競い、賞金は総額2万ドル（約310万円）以上となります。

- ❖ 文章生成AI「GPT-3」がRedditで1週間誰にも気付かれず人間と会話していたことが判明
 - 2020年10月08日
 - <https://gigazine.net/news/20201008-gpt-3-reddit/>
- 人工知能を研究している非営利団体OpenAIが開発した言語モデル「GPT-3」を使用して、何者かが海外掲示板のRedditに1週間近く投稿を続けていたことが分かりました
- GPT-3による投稿は、最終的に開発者の手によって停止されましたが、発覚するまでの間GPT-3は誰にも気付かれることなく、Redditユーザーと言葉を交わしていたと報じられています

❖ 文章生成AI「GPT-3」がRedditで1週間誰にも気付かれず人間と会話していたことが判明

- 2020年10月08日

- <https://gigazine.net/news/20201008-gpt-3-reddit/>

- スレッド

- 「人生の暗い時代を乗り越えるのに役立ったものは何ですか？」

- アカウント u/thegentlemetre の回答

- u/thegentlemetreは「私を一番助けてくれたのは、おそらく両親だと思います。私と両親はとても良い関係で、両親はいつも私を支えてくれました。私の人生の中で、自殺したいと思ったことが何度もありましたが、両親のおかげで自殺はしませんでした」

- 投稿スピードやPhilosopher AIとの類似性から発覚

- Philosopher AI : GPT-3を使用したテキスト生成サービス

❖ 生成AIで特定の人物を再現する技術開発進む

- <https://www3.nhk.or.jp/news/html/20240417/k10014422911000.html>

- 2024年4月17日 NHK

- 生成AIの活用が広がるなか、特定の人物の考え方や声などを再現する技術開発が進んでいます。
- 日立製作所のグループ会社は、生成AIを活用して特定の著名人の考え方を再現し、さまざまな相談などに回答する技術を開発しました。
- 一般的な生成AIは大量の知識や情報を学習し、特定の立場や考え方には偏らない汎用的な回答を行いますが、この技術では、著名人の著書などのデータに特化して学習しています。

❖ 「AIひろゆき」 GPT-4導入し再び生配信 今度は投げ銭OK 収益は“本物”に還元

- 2023年 4月11日

- <https://www.itmedia.co.jp/news/articles/2304/11/news124.html>

- AI音声合成サービスを提供するCoeFont（東京都港区）は4月11日、西村博之（ひろゆき）さんを模した「AIひろゆき」による生配信を再び実施すると発表した。
- AIがひろゆきさんのようなコメントを生成し、ひろゆきさんに似た音声合成で配信する。
- 新たにユーザーによる“投げ銭”を解禁し、収益をひろゆきさんにも分配するという。配信は13日の午後6時に始める。

❖ 部屋探しの「不動産ポータル」が役割を終える日 生成AIの活用が加速、「AI不動産」の現実味

- <https://toyokeizai.net/articles/-/748054?display=b>
- 2024年4月17日東洋経済オンライン
- この1年、AI（人工知能）に関するニュースを見ない日はない。筆者は2年以上前の2022年1月に「AI不動産」が登場する不動産流通市場の未来を予測する記事「部屋探して『オトリ物件』が排除される驚きの未来」を書いて、東洋経済オンラインに掲載した。
- 記事掲載の10カ月後にアメリカ・オープンAI社が生成AIサービス「ChatGPT」をリリースすることはさすがに予想していなかったが、2018年頃からディープラーニング（深層学習）による自然言語処理の進化が加速していたので不動産流通業を対象にAIによるDX（デジタルトランスフォーメーション）の未来図を描いてみたわけだ。
- 生成AIの登場で日本でも活用する動きは一気に加速し、不動産分野でもさまざまな取り組みが始まっている。果たして「AI不動産」は本当に実現するだろうか。

- ❖ 部屋探しの「不動産ポータル」が役割を終える日
- ❖ 生成AIの活用が加速、「AI不動産」の現実味

- <https://toyokeizai.net/articles/-/748054?display=b>
- 2024年4月17日 東洋経済オンライン

- 「AI不動産」の現実味

- 2年前の記事で予測したことを整理すると、次のようになる。

- ①人間の話し言葉を「AI不動産」が理解し、顧客が要求する情報を提供する。
- ②AIアバターが音声を認識し、音声で応答する。
- ③「物件数ナンバー1」といったテレビCMが姿を消す。
- ④「不動産データバンク」が構築される。
- ⑤「AI不動産」が顧客に質問し、要望を聞く。
- ⑥「AI不動産」が資金計画の相談に対応する。

- ❖ 部屋探しの「不動産ポータル」が役割を終える日
- ❖ 生成AIの活用が加速、「AI不動産」の現実味

- <https://toyokeizai.net/articles/-/748054?display=b>

- 2024年4月17日東洋経済オンライン

- 「AI不動産」の現実味

- 2年前の記事で予測したことを整理すると、次のようになる。

- ①人間の話し言葉を「AI不動産」が理解し、顧客が要求する情報を提供する。

- ①は実現しつつある。

- ②AIアバターが音声を認識し、音声で応答する。

- ②のAIアバターも、すでに実用段階に入ってきている。

- ③「物件数ナンバー1」といったテレビCMが姿を消す。

- ④「不動産データバンク」が構築される。

- ⑤「AI不動産」が顧客に質問し、要望を聞く。

- ⑥「AI不動産」が資金計画の相談に対応する。

- 技術的には可能

❖ 部屋探しで「オトリ物件」が排除される驚きの未来「不動産ID」が導入された不動産業の将来を予想

- <https://toyokeizai.net/articles/-/503768>

- 2022年1月20日 東洋経済オンライン

- 不動産DX（デジタルトランスフォーメーション）の“一丁目一番地”と位置付けられる「不動産ID」の導入を巡って、不動産業界の対応が注目されている。政府の「デジタル社会の実現に向けた重点計画」にも2022年度の「不動産ID」の導入が盛り込まれ、国土交通省でも今年3月までに不動産IDのルール策定を終える予定だ。

❖ 部屋探して「オトリ物件」が排除される驚きの未来 「不動産ID」が導入された不動産業の将来を予想

- <https://toyokeizai.net/articles/-/503768>

- 2022年1月20日 東洋経済オンライン

- 不動産IDが、不動産市場や不動産業の変革にどのような影響を及ぼすかを十分に見通せていないからだろう。業界内からは「大手不動産仲介会社にとって、売り主・買い主の双方から仲介手数料を得る『両手取引』がやりにくくなる」との声も聞くが、不動産IDの議論で決定的に欠如しているのが「ユーザー視点」である。

- これまでの延長線上で将来像を描くのではなく、不動産IDの導入によって、どのような不動産市場を目指すべきなのかが重要だろう。さまざまな関係者の証言をもとに、筆者の独断で「不動産業の将来像」を予想してみた。